



8・15終戦記念日宣伝を四条河原町でする京都府本部、中央は原田完会長



No. 567

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail

chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

# コロナ感染激増は菅内閣の人災 市民と野党の共同で政権交代を

8月は異常気象が発生し、西・東日本と東北の広い範囲で記録的な大雨や突風、落雷などで、河川の氾濫、浸水と土砂災害が引き起こされました。会員はじめ被災地の皆さんに心からお見舞いを申し上げます。

新型コロナウイルスの感染者数は8月19日、2万5156人が確認され、初めて2万5千人を突破しました。緊急事態宣言は25日、新たに北海道、宮城、岐阜、愛知、三重、滋賀、岡山、広島が追加され、合計21都道府県に拡大されました。また、まん延防止等重点措置も新たに高知、佐賀、長崎、宮崎4県が追加され、合計12県。宣言か重点措置は47都道府県の70%に上ります。いずれも期限は9月12日までです。

深刻な事態は菅内閣の人災以外の何物でもありません。パライピックの中止、直ちに国会を開催し、臨時医療施設の大規模な確保。大規模感染が広がっている職場、学校、家庭でのPCR検査の抜本的強化による感染者の発見、隔離、保護。あわせて医療機関への減収補填を強く要求するものです。

横浜市長選挙では、市民と野党の共同候補・山中竹春氏が、菅首相直結候補に18万票の大差で圧勝しました。4月の衆参補選、7月の都議選に続く市民と野党共同の勝利です。迫りくる総選挙勝利、政権交代を実現しましょう

なお、8・15終戦記念日は、32県82カ所で宣伝しました。

## 主な記事

- 8・15終戦記念日一斉宣伝 ..... 2
- 各県本部の大会・総会Ⅱ続Ⅱ ..... 2
- 私も一言／山本由美 和光大学・東京自治問題研究所理事長 ..... 3
- 顕彰碑／秋田雨雀の墓地 ..... 5
- 抵抗の群像／庫山寛一 ..... 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 ..... 7

### 8・15終戦記念日一斉宣伝 82カ所・367人参加、7万枚余のビラ配布

不戦の誓いを新たに「戦争する国づくりストップ」を訴え、32県82ヶ所で一斉宣伝行動を行いました。



で宣伝を行い、吉田万三東京都本部会長、田中幹夫中央本部事務局長が訴えました。豊島、練馬、足立の3支部から11人が参加しました。



悪天候でしたが、中央本部・都本部はJR池袋駅西口(写真下)

越前で12人など4カ所25人が参加。小樽では初参加もありました。

県名	宣伝力所	参加支部	参加人数	ビラ配布	
				街頭	折込
北海道	4	4	25	150	
青森	7	5	78	358	3,570
秋田	29	8	57	1,710	4,470
山形	4	4	17	650	5,221
茨城					2,660
栃木					1,200
群馬					2,500
埼玉	1		3	40	
東京	5	18	50	79	16,280
神奈川	2	2	15	200	11,000
山梨	8	2	6	680	1,340
長野	1	1	12	200	1,800
新潟	1	1	5		1,100
福井					1,000
岐阜	1	1	10	300	
静岡	1	1	3	41	
合計	82	67	367	7,699	62,441

秋田県本部は、全支部から57人が参加、宣伝力一で訴えました。岡山県本部は4支部28人が参加、倉敷駅(写真上)など4駅で宣伝、募金1000円がありました。香川県本部は初参加者2人など、8人で宣伝しました。

### 各県本部の大会・総会

『新しき明日をめざして』を力に前進

今年も県大会はコロナのため中止し7月14日に理事会を開き代行。この1年、各支部で会員を拡大しましたが死亡、病气などで減勢となりました。

同盟活動の柱である黄色い署名活動では、全国は大幅な減退でしたが、岩手は目標の7割を達成し健闘しました。署名を広げるため、保育の分野でも戦前は治安維持法で弾圧された歴史があることを知らせた経験も報告されました。犠牲者名簿の『新しき明日をめざして(治安維持法等で弾圧された岩手の人々)』を発行したのでこれを学習し、会員拡大、署名活動、顕彰活動を前進させようと確認。

会長に牛山靖夫、事務局長代行に田中館安子を選出しました。(県本部会長・牛山靖夫)

### 高知 署名の目標達成、会員の増勢を目指す

高知県本部総会は昨年引き続きコロナ禍のもとでの開催となりました。(3ページにつづく)

### 熊本 会員は2倍に前進 共闘支える同盟に

熊本県本部総会は昨年につづき今年も、会員が一堂に会しての総会をやめ、会員全員に総会議案全文を届け、全会員の意見を反映し



同盟中央本部の近くに平将門を祀る江戸総鎮守の神田明神があり、そこから北に日本武尊を祀る妻

恋神社、菅原道真を祀る湯島天神が約600メートルにほぼ直線で並んでいる。江戸時代の祈りのメインスタリートで、祭神はいずれも時の権力によって怨念を抱えたままに死に追いやられた人物だ。江戸の人々は天変地異や疫病が蔓延するとその原因を祟りとし、これらの神社に参拝した。コロナ感染症ではアマビエ信仰が復活したが人々の祈りは江戸時代のそれとは別物であり、ひとつのファッションに過ぎない。ところがコロナに無為無策の首相は本心から神頼みをしているのではないかと日々感染者数を見れば、神にも見捨てられたのか感染症の収束は見込みが立たず、それどころか政権の維持すらあやしい。▼政権の倒れるのを待つのではなく倒すのだ、さもなくば次の政権は我等のものにはならない、この決意を一層強くする8月だ。(永)

### (2ページからつづく)

岡村会長が高知県の同盟の歴史、戦前の不屈の戦いに触れ挨拶しました。来賓は衆議院比例予定候補中根耕作さんが駆けつけ決意を語りました。

この一年を振り返ると感染防止が重しとなり、個々の課題に力の集中が出来なかった事が反省となっています。

顕彰活動は今年数年ぶりに横村



巻き込みながら「社会正義的組合」の運動が多くの市で盛り上がっています。自分たちの労働条件の改善のためだけではなく、市民やコミュニティの利益のために交

### 命の大切さ人権の大切さを説き続ける

### 山本由美

「教師の労働条件は子どもの学習条件である」ことを共有し、

今、アメリカで若い労働者たちを巻き込みながら「社会正義的組合」の運動が多くの市で盛り上がっています。自分たちの労働条件の改善のためだけではなく、市民やコミュニティの利益のために交

財界が進める新自由主義的な教育改革に対する対抗軸が形成されていったのです。日本でも貧困や生きづらさ、社会的矛盾に対して、これはおかしい、と声をあげる若者はきつと増えると思います。新しい共同が生まれることを期待しています。(和光大学・東京自治問題研究所理事長)

て県本部理事会で確認するという方式で7月18日に開催しました。県本部は今年結成42周年を迎えますが、4、5年前までは長年100人前後の組織現勢で低迷し、民主勢力幹部の間でさえその存在を知らない人が多くいるほどマイナーな組織でした。現在もまだマイナーな状況を抜け出すには至っていませんが、ここ数年の頑張りで今総会現勢は182人、ほぼ2倍に前進してきました。しかし、安倍・菅政権のほぼ10年間で、秘密保護法、盗聴法、共謀罪法、マイナンバー制度(国民総背番号制度)、戦争法、重要な土地利用制限・監視法など治安維持法の内実が着々と復活、整備されてきている状況の下で、治安維持法同盟が果たすべき役割はかつてなく大きくなってきています。そういう認識に立って、今年の総会スローガンには中央本部が掲げる「行動する同盟」に加えて「市民と野党の共闘の一翼を担える県同盟の建設」をかかげ、一日も早く200人を突破し、さらに(4ページにつづく)



(3ページからつづく)

前進することを誓い合いました。また、治安維持法による共産党への最初の大弾圧である「3・15事件」の犠牲者である伊藤千代子の生涯と、その伊藤千代子を獄死に追いやった治安維持法の非人間的で過酷な実態を多くの人に知ってもらおう絶好の教材として映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」の製作・上映運動を強力に進めることを確認しました。(県本部事務局長・関根隆)

滋賀 前進勝ち取った活動 さらに前進を

滋賀県本部は第33回総会を5月23日大津市内で開催しました。島田耕県本部会長は開会あいさつで、県同盟の一年の前進を勝ち取った会員の活動をたたえ、さらなる前進を呼びかけました。「活動報告と運動方針案」の提案に立った西田清事務局長は、「安法案、共謀罪法などで『監視社会』化、『戦時体制』が進行しているいま、国賠署名、犠牲者顕彰の運動は、『戦争国家づくり』を阻止する重要な運動だ」と強調

和歌山 マンネリを克服し、より高い運動を目指す

8月7日和歌山市内で県本部第32回大会が開かれました。大会冒頭、昨年度の10人の物故者に黙とうを捧げ、議事に入り日本共産党和歌山県委員会より県議奥村規子氏から挨拶を受け岸本周平衆議院議員よりのメッセージをはじめとして友誼団体からのメッ



討論では、大津支部から5月12日の国会請願行動についての報告、また「従軍慰安婦」の存在すら否定する東近江市議会「決議」など歴史修正主義との闘いを呼びかける発言がありました。新興吟詠会滋賀県本部の皆さんが「ああ伊藤千代子追悼詩」を吟詠。参加者の感動を呼びました。西田事務局長は、国賠署名活動参加者を増やすこと、支部幹事会の定期開催の重要性を強調しました。会長に島田耕、副会長に西田清、事務局長に袖口延各氏を選任。(県本部事務局長・袖口延)

ししました。討論では、大津支部から5月12日の国会請願行動についての報告、また「従軍慰安婦」の存在すら否定する東近江市議会「決議」など歴史修正主義との闘いを呼びかける発言がありました。新興吟詠会滋賀県本部の皆さんが「ああ伊藤千代子追悼詩」を吟詠。参加者の感動を呼びました。西田事務局長は、国賠署名活動参加者を増やすこと、支部幹事会の定期開催の重要性を強調しました。会長に島田耕、副会長に西田清、事務局長に袖口延各氏を選任。(県本部事務局長・袖口延)

顕彰碑 探訪

劇作家、詩人・童話作家、小説、評論、社会運動などで幅広く活動

秋田雨雀の墓地

秋田雨雀(本名は徳三)は、1883(明治16)年1月30日、青森県南津軽郡黒石町(現黒石市)の産科医である全盲の父玄庵と、母まつ(長男として生まれた。青森県黒石町黒石尋常小学校、青森県立第一尋常中学校を経て東京専門学校(早稲田大学の前身校)英文科に入学。在学中の1904年、詩集「黎明」を刊行した。8年、恩師島村抱月の推薦により『早稲田文学』6月号に「同性の恋」を発表。9年小山内薫の自由劇場に参加。第4回公演で自身の戯曲「第一の暁」が初めて上演。14年沢田正二郎らと芸術劇場を結成する一方、劇作家、詩人・童話作家、小説、評論、社会運動などで幅広く活動した。15年、来日した盲目の詩人ワシリー・エロシェンコと

鬼子母神の森を散策しているときに出会い、親交を結びエスペラントを学び、31年日本プロレタリアエスペランチスト同盟を結成した。21年、日本社会主義同盟に加入し、24年にはフェビアン協会を設立。27年にはロシア革命10周年記念式典に国賓として招かれソ連を訪問した。29年プロレタリア科学研究所を引き継ぎ、所長となる。47年、第1回参議院選挙に日本社会党公認で青森1区から立候補したが落選した。同年、豊島区にあった舞台芸術学院院長に就任、演劇人養成に貢献した。49年日本共産党に入党。50年、日本児童文学者協会第2代会長に就任した。62年5月13日没、79歳。(中央本部 田中幹夫)



◇墓地は本能寺 豊島区雑司ヶ谷 3-19-14 交通 都電荒川線雑司ヶ谷下車 徒歩6分

ページが紹介されました。

鶴田至弘会長の報告提案では同盟独自の諸課題をマンネリを克服しながらより高い運動を目指すとともに、とりわけ次期衆議院選挙での重要性が強調されました。署名活動では有権者数の1%8000筆、会員拡大550人の到達等を確認しその他財政報告等全員一致で採択されました。特別決議として、次期衆議院選挙に臨む同盟と友好関係にある小選挙区候補への激励と要望の決議が採択されました。

【本の紹介】 『いま語る昭和史の影』 治安維持法の傷跡 国賠同盟宮城県本部が発刊

宮城県本部は、『東北放送ラジオいま語る昭和史の影』を発刊した。これは、宮城県本部が発刊した『いま語る昭和史の影』の続編として、次期衆議院選挙に臨む同盟と友好関係にある小選挙区候補への激励と要望の決議が採択されました。



北放送ラジオいま語る昭和史の影

影「治安維持法の傷あと」を発刊。1986年の東北放送ラジオの特集番組で放送された、県内の治安維持法犠牲者らの過酷な経験の生の声を、当時の県同盟事務局長の小田島森良さんが、放送メモと説明を加えて県版「不屈」(87年)に出版しました。以来30数年、当時の録音テープが入手でき、それを正確に再生し必要な整理のうえ作成したのがこの冊子です。当時のラジオ番組では、東北大学法学部の小田中聰樹教授(当時)が治安維持法の核心を鮮明に解説。いかに残酷・非道な弾圧だったかを、犠牲者である高橋實医師(元全国国民医連会長)、乳銀杏保育園園長を務めた阿部和子さん、キリスト教関係者が生々しく証言・告発しています。

小田中先生の「推薦のことば」では、「学術会議会員6名の任命拒否」など治安維持法の「形を変えての再生の危機」を訴えており、治安維持法を知らない多くの国民に読んで欲しい冊子です。▽頒価500円 ▽申込み 宮城県本部022-2222-6458

製作資金450口めざす大運動へ 全国オンライン会議開催

同盟千代子チーム・桂監督・「全国のお会」は8月10日、「全国オンライン会議」を行い、全国14県、37地点70人が視聴しました。桂監督の映画製作運動の現状と意義、増本会長が時代背景など冒頭発言の後、長野、苦小牧、島原、大阪、沖繩・千葉から現地報告。原菊枝役の宜野座万鈴さんが出演への決意を述べました。苦小牧・島山忠弘さんは、映画製作を確実に完成させるために10月までに450口をやり遂げようという方針を支持し、全国が心を一つに必ず実現しようと呼びかけました。

を確認し、引き続き学習運動型・実行委員会型の民主的映画運動の新しい形態を全国で展開し目標を達成しようと呼びかけました。★新型コロナの学習・PRグッズ①学習PR動画「DVD・伊藤千代子の生涯」2版発行・頒価500円②『漫画 伊藤千代子の青春』ワタナベ・コウ著・新日本出版社刊・定価1300円+税・10月15日発売



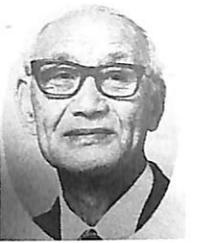
オンライン会場(右から桂、増本、宜野座氏ら)

★エキストラ募集開始・応募を

Table with columns: 地域 (Region), 年齢対象 (Age Target), 募集人数 (Recruitment Number). Rows include 松本 (Matsubara), 奈良井宿 (Naraijyaku), 山梨 (Yamanashi), 深谷 (Fukaya), 笠間上浦 (Kasamajoh), 千葉 (Chiba), 南足柄市 (Minamimitsubashi), 御殿場 (Gonodama).

◆申込締切9月25日※年齢は参考に入れましたが、中年対象への70、80歳代の方々のご参加も大歓迎です。★希望者には詳細な募集要項を差し上げます。

抵抗の群像



教育と農民運動で革新的青年を育成した

くらやま かんいち 庫山寛一

今も「庫山センセイ」と慕われる庫山寛一。「抵抗の群像」は誰もが波乱万丈の生涯だが、庫山もそうであった。

■若き「庫山センセイ」の運動と弾圧(戦前)

庫山は1908(明治41)年、秋田県雄勝郡山田村(現・湯沢市)に生まれた。秋田師範学校を卒業し地元の小学校の教員となった。トルストイの人道主義に傾倒しつつ、自然科学、社会科学を学ぶ中でマルクス主義に到達した。

30年創刊の『新興教育』の読者になり、職場に教育問題や社会学の研究会を作り、地域の青年団の若者たちを指導援助し、革新的青年の育成に努めた。秋田で最初の獄中死した鶴沼勇四郎の農民闘争に協力した。

32年「新興教育同盟」結成の中心となり、勤労階級の児童を守る

ことや、綴り方教育、皇国史観教科書批判など、反戦と反権力の教育と運動の指導を行った。農民組合と協力し合い欠食児童への給食を行った。学芸会では児童を選別せず全員出演させる努力をした。

同年鶴沼の検挙に続き、庫山も治安維持法違反で検挙され4カ月拘留された。教員は懲戒免職になった。葡萄栽培をしながら地域活動をしていたが、34年再び検挙され4カ月拘留されたが起訴猶予となり、教員に復職した。一時満州に渡ったが半年で帰国し、再び教員となり終戦を迎えた。

■指導を受けた犠牲者の回想の「庫山先生」

指導を受けた青年団の一人に加藤政吉がいる。自身も弾圧犠牲者である。戦後に庫山と共に、政治活動の苦楽とともにした同志である。加藤は文学青年であり、不屈

とユーモアの闘士であった。自伝的小説『加藤政吉物語』ある無名戦士の記録に、庫山について書いている箇所を要約紹介する。加藤は、若き庫山先生は「虫が好かない人」だった。しかし社会主義への導きを受ける。その一文である。「庫山先生は『勉強するなら、やっぱり、枝葉のものよりマルキシズムの本質に真っ直ぐに取り組んだ方がいいな』」

こうして一人の「青年革命家」が誕生した。庫山は入党前からマルクス・エンゲルスの文献を学習し、「赤旗」配達や党へのカンパをしていた。終戦後、加藤政吉は庫山を訪ねた。「庫山先生は、涙を浮かべるように言った。『党が公然と活動できる——これだけでこの喜びを味わうことができるだけでも吾々は幸福だ』」

■闘い続けた「庫山先生」(戦後)

戦後は、教員組合の結成に奮闘し、秋田県教員組合の結成に参加し、47年に雄勝支部の書記長となった。戦後初めての県議会議員選挙に雄勝郡区から立候補し当選した。49年日本共産党に「正式」入党。

入党時期は、県議立候補の時期や事情があつて、立候補は無所属だったと聞かされた記憶がある。その後の庫山は、新聞販売を営み「赤旗」分局活動を続けつつ、農業農民運動、平和運動、政治闘争に奔走する。山田農業委員会会長、湯沢市農業委員会会長代理、日農県連統制委員長、日農県連執行委員長、湯沢市雄勝郡PTA連合会会長を歴任。政治分野では県議選への再挑戦、湯沢市長選挙にも挑戦したが惜敗を重ねた。

治安維持法同盟秋田県本部の結成に参加し、初代会長に選出され全国大会にも参加。92年以降、同盟県本部顧問、湯沢雄勝支部の名誉会長に推された。日本共産党秋田県委員会顧問でもあった。

庫山が生まれた地域は、優れた革新的活動家が育ち、共産党の市議会議員や市長を輩出している。庫山寛一は1998(平成11)年9月90歳の生涯を終えた。国賠湯沢雄勝支部は、獄中死した鶴沼勇四郎などと共に、「庫山先生」の墓参を続けている。

(秋田県本部会長・最上健造)

同盟文芸

短歌

コロナ禍で猛暑にたえて辻に立ち護憲の旗にぎりし 碓田のぼる選

む汗にじむ手に 福井県 元山章一郎  
「生きていくだけありがたい」と看護師に言う時にこころとした笑顔もろう 静岡県 江川 佐一  
敗戦の夜も踊りし郡上踊りコロナ禍のため二年も中止に 岐阜県 和田 昌三  
落蟬の音も途絶えし夜明前訃報届きぬ同志七十二歳 埼玉県 白川 洋子

戦争の体験語り歩いていくという卒寿を越えし京都の友は 大分県 渡辺 幹生  
紛争に諍いつづく世界中和とは何リーダーに問う 長野県 生路 聰  
リハビリは木槿花咲く施設道友と語りてゆつくり歩む 埼玉県 福家 駿吉

日本の治安維持法そのままに恐怖政治が香港にあり 島根県 小玉 信恵  
五輪より命守れとマイク持つ畑の農夫手を振り拍手 兵庫県 岸本 守  
日米で「核禁」批准の声高し我を励ます世界の激動 鳥取県 大久保禮吉

〈選のあとに〉元山作品は、下句に力がある。作者の一途な思いの表現である。江川作品、看護師との会話を歌にしたものであるが、この一首、結句によって光っている。和山作品は、敗戦の夜さえ踊り継いで来た郡上踊りのなき異状を嘆く。

俳句

夏沖繩今も探すは叔父の骨 三重県 橋本しげる

政変の選挙勝利へ玉の汗 埼玉県 大野 辰男  
垣根(こし)凌霄の花声かける(凌霄のうぜんかずら) 岩手県 畠山 文裕  
終戦忌核抑止論糺す舌 埼玉県 小池 莊八  
抑留の義父の面影敗戦忌 神奈川県 天野三葉子

〈評〉横浜市長選挙の結果は、総選挙に向けて大きな弾みをつけました。さらに努力し、句作活動にも実らせたいものです。俳句の魅力の更なる発展のためにもっと叙情性ゆたかな五七五をめざしましょう。

川柳

メディアみなメダル一色危機よそこに 鳥取県 大久保禮吉

〈評〉五輪期間中、新聞もテレビも正にオリンピック一色。猛威をふるう第5波の実態を国民の眼から逸らすかの如くにウィルスが暴く人権無視の国 埼玉県 福家 駿吉  
鶴彬私の中に脈々と 大阪府 大和 峯二

わが余生多喜二千代子に染まりたし 岡山県 藤沢喜代子  
語り継ぐ六日九日十五日 東京都 稲邑 明也

望月たけし選

【本の紹介】

『治安維持法体制に抗して近代沖繩反体制運動史資料』 田港朝昭著

「治安維持法体制に抗し運動を起し拡げた沖繩民衆の数ほどのくらいいたのだろうか。そのきっかけを探し当てたときの感動をいまもおぼえている。それは『沖繩労農タイムス』を『発見』したときのことだ」。長年、沖繩近現代史の研究をされてきた著者の言葉だ。本書は、著者がこの間、学会での研究発表や学習会等で作成し発表してきたものである。



「治安維持法沖繩関係犠牲者一覧」 「事件・資料別一覧」 「治安維持法体制に抗し運動を起し拡げた民衆」 「年表 帝国憲法・ファシズム体制下の民衆」等が掲載されている。著者 たみなと・ともあきは1931年生れ、東京教育大学文学部史学科卒業、琉球大学教授、現在、琉球大学名誉教授、同盟沖繩県本部顧問。(沖繩県本部副会長・大城辰彦) ▽定価900円(税)

# 『無二の親友展』 『松本五郎展』 図録のご案内

2019年11月札幌市で開催された「松本五郎・菱谷良一無二の親友展」と21年8月に同鹿追町で開催の「松本五郎展—自由な心を求めて—」図録のご案内です。松本五郎さん（20年10月・没）と菱谷良一さんは41年、旧・旭川師範学校美術部の生活図画事件で治安維持法違反の疑いをかけられて検挙、1年3カ月の獄中生活を経て

は戦後も芸術を愛する者同士親しく交流し、画家としての活動と合わせて自らの受けた弾圧の記憶を語り継ぐ活動に尽力しました。自由な心の表現を求めてひたむきに創作に励まれてきたお二人の歩みをご覧頂ければ幸いです。

「松本五郎・菱谷良一 無二の親友展」 A4判フルカラー 24ページ 1、250円（送料込み） 松本さんと菱谷さんの油彩・水彩・木版画、計64点を収録。旭川師範時代から83年続いた友情の結晶です。

【お申込み】ギャラリー北のモン



## 「コロナ禍にうち勝ち」 「そろりに行動する同盟」を支えるために

昨年は会費はじめ名刺広告、年末募金等にご協力ありがとうございました。年度初めからの会費納入に取り組んでいます。早めの会費納入にご協力ください。また、2万人の同盟建設で、財政基盤の確立を目指しています。会員拡大にご協力ください。

パルナス/清水真知子

〒063-10804 札幌市西区

二十四軒4条3丁目3-16

アートヒル琴似 102号

TEL 011-302-3993

メール smzlmr@yahoo.co.jp

お支払いは図録に同封する郵便振替用紙でお願い致します。

### 訃報

中村日出丸中央常任理事・千葉県本部事務局長が、7月15日死去されました。

謹んでご冥福をお祈りします。

### 【住所変更】

県本部住所変更  
〒891-0116  
鹿児島県上福元町6854-4  
上野隆司

### 事務局日誌

- 8月1日 長野県本部総会
- 8月10日 「不屈」編集会議
- 8月15日 8・15終戦記念日池袋駅前頭宣伝
- 8月20日 伊藤千代子オンライン石川県集会
- 8月26日 国際人権活動日本委員会拡大幹事会

## 好評発売中

## 『治安維持法と現代』

## 2021年春季号 (41号)



【主な内容】 <巻頭論文> 日本学術会議任命拒否と反憲法政治 = 小沢隆一、戦前のもう一つの学問統制・学問動員 = 萩野富士夫、《情勢学習》菅政権の防衛政策 - 急浮上した敵基地攻撃能力 = 半田滋、3・11大震災から10年の福島 = 伊藤達也 「新自由主義」とコロナ・パンデミック = 友寄英隆、ジェンダー・ギャップ指数と日本社会の課題 = 清末愛砂、「拷問の時代を終わらせるため」 = 前田朗、《エッセイ》没後70年・治維法下の宮本百合子 = 澤田章子、《研究報告》秩父事件と女性たち、浅野晃『幻想詩集』を読む★国会請願署名の衆・参両院の紹介議員一覧

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。